

# 第1回「新県民体育館を核としたまちづくり」ワークショップ まとめ

新しい県民体育館が誕生することで、高知市の中心市街地と連動した賑わいの創出や街並みがどのように変わるか。県民・市民に参加してもらい未来の街の姿を思い描きながらまちづくりについて一緒に考える。

- 日時 令和8年3月29日(日)  
14:00~17:00
- 場所 オーピア図書館 4階研修室
- 講師 高知大学自然科学系理工学部門  
坂本 淳 氏
- 参加者 20名  
(高校生9名、大学生(専門学生含む)4名、  
高知市職員3名、地域住民1名、商工関係者1名、  
観光関係者1名、交通関係者1名)



## まちづくりに関する講義

<坂本講師より>

地方のまちは、超高齢化や人口減少が進んでおり、行政が進めるまちづくりについても、コンパクトかつ公共交通の利便性の高い都市の形成に加えて、持続可能なまちづくりが求められる。

新県民体育館では、既存の都市基盤を活かした都市機能の整備・集積や、南海トラフ地震の津波による浸水被害などを想定した安全・安心なまちづくりを目指していく必要がある。

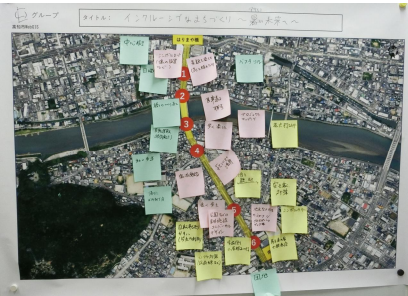


※画像は生成AIを利用したイメージ

## グループワークの概要

### ①各グループで話し合いながらアイデアを付箋に書き、模造紙に貼り付けよう!

はりまや橋から新県民体育館までのマップを見ながら賑わいを生むための取組や場所のアイデアを出し、付箋に書き出して貼り付け



### ②生成AIを利用してイメージ画像を作ってみよう!

①で出たアイデアを生成AIを用いてイメージ画像を作成し「見える化」。街の賑わいの様子を具現化することができた  
道路の拡張や、キッチンカーやカフェテラスの配置、歩行者天国化、シンボルロード化など「こんなものがあつたらいいかも!」もっと高知らしさを出したいといった、参加者のアイデアがさらに広がっていく場面が多く見られた



※画像は生成AIを利用したイメージ

### ③グループごとに発表!

各グループで作成した模造紙とイメージ画像を発表  
将来の街の姿や賑わいを想像し、皆でアイデアを出し合い、具体的な形にしていくまちづくりの行程の一端を体験



## まとめ・成果

- まちづくりに関わる方々、特に高校生や大学生など若者が多く参加し、新県民体育館の整備をきっかけに自分たちの街について考える契機となった
- 出た意見やアイデアは、新県民体育館やその周辺でどのように賑わいを生んでいくか考えていく上での貴重な示唆となった
- 生成AIという最先端の技術を用いて、アイデアの具現化体験ができた
- 新県民体育館への期待や関心など機運が高まる機会となった